

The background features a dark blue space filled with vibrant, flowing light trails in shades of teal, purple, and orange. A large, transparent, multi-faceted geometric prism is positioned on the right side, acting as a focal point. It refracts the surrounding light into a spectrum of colors, creating a bright, starburst-like effect at its center. The overall aesthetic is futuristic and high-tech.

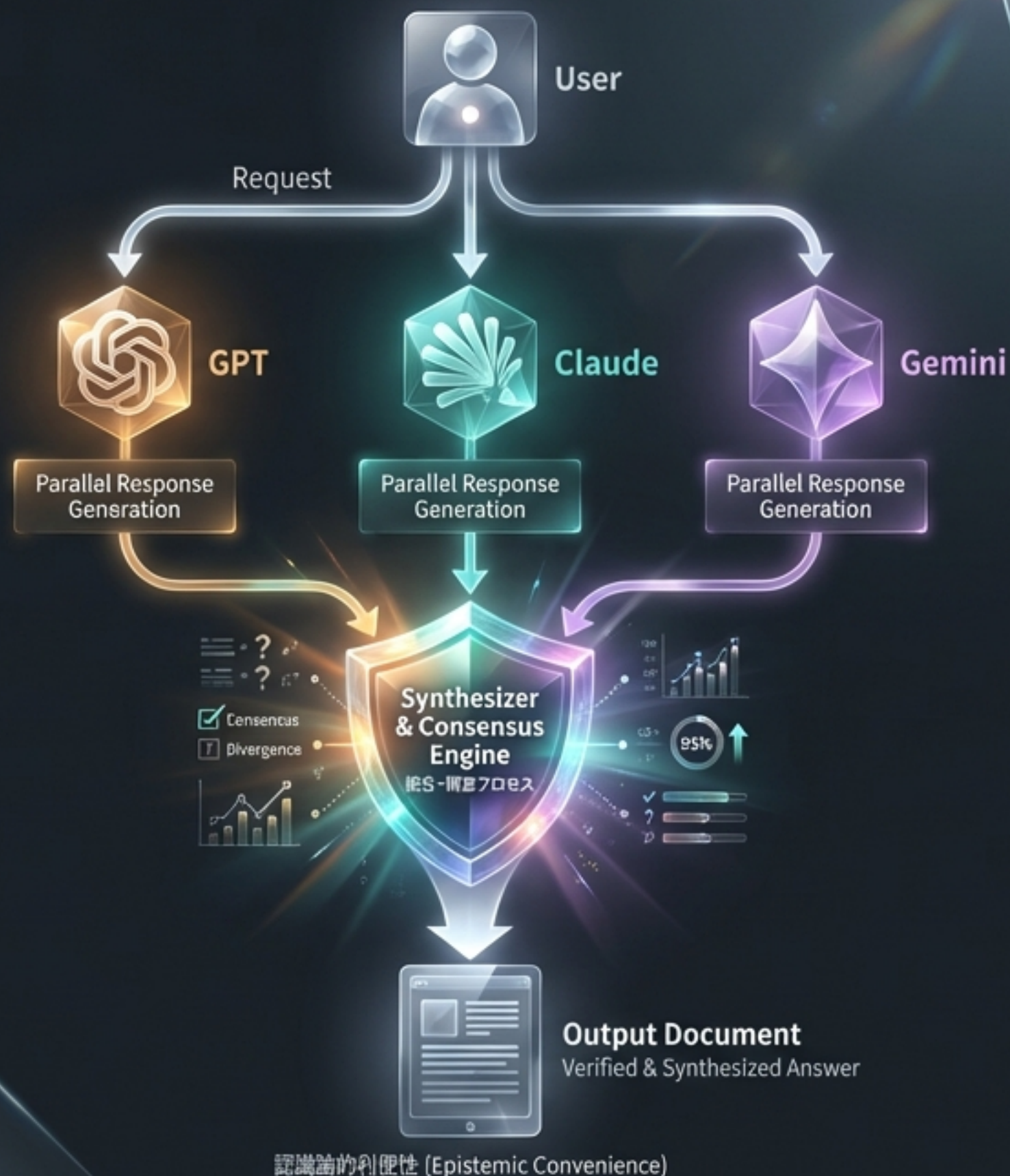
Perplexity Model Council : AI検索は「単独」から 「合議」の時代へ

複数モデルの協調が生み出す「信頼性」と
「多角性」の完全レポート

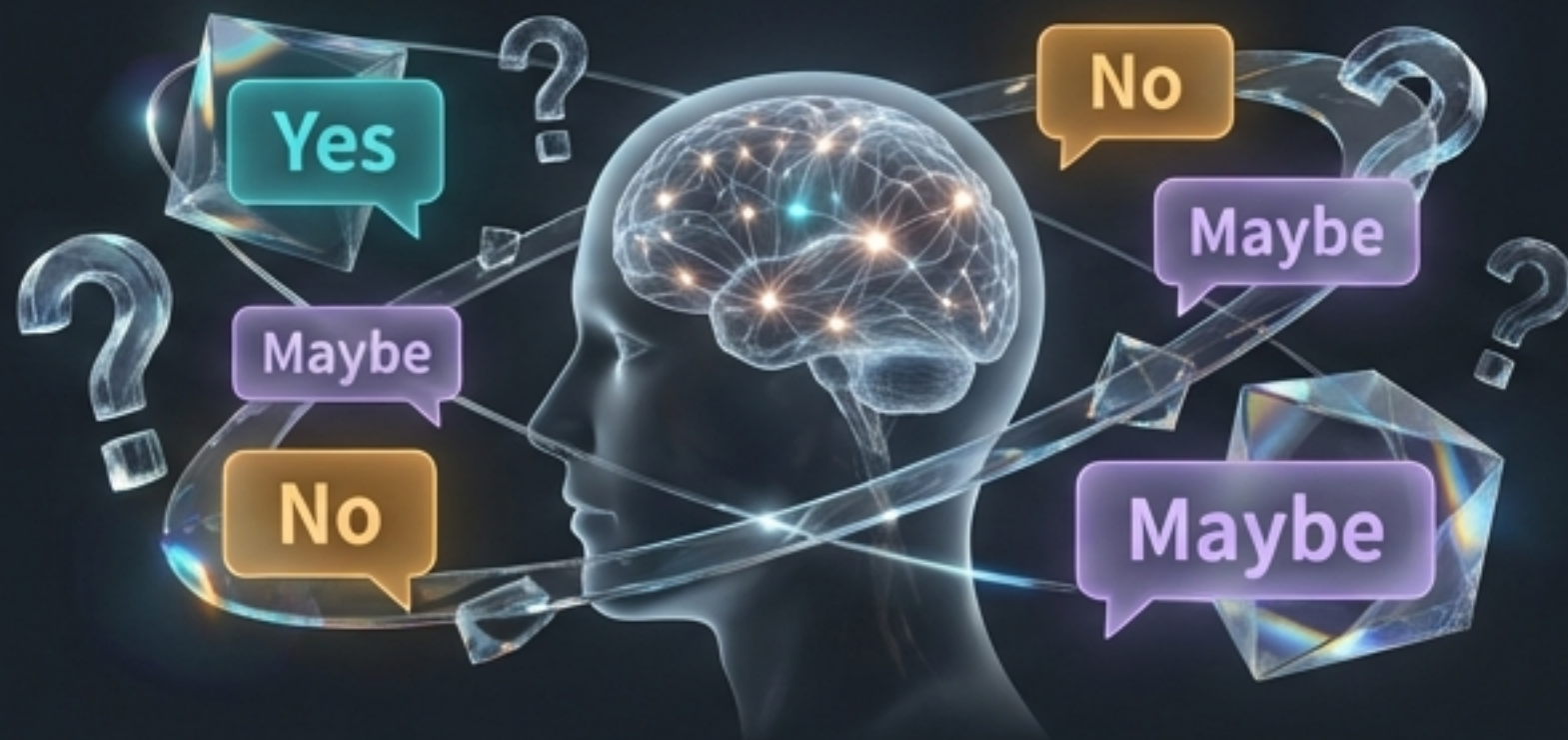
要約：検索体験は「どのモデルを選ぶか」から「モデル間の合意を見る」へと進化する

- ◆ **The Launch:** 2026年2月、Perplexityは新機能「Model Council」を発表。ユーザーの1つの質問に対し、3つの主要LLMが並列で回答を生成する。
- ◆ **The Mechanism:** 各モデルの回答を独自の「**シンセサイザー（統合）モデル**」が精査。意見が一致した事実（Consensus）と、見解が分かれた点（Divergence）を整理して提示する。
- ◆ **The Impact:** ハルシネーション（幻覚）のリスクを劇的に低減し、算術タスクの精度を単独モデルの約70%から95%へ向上。
- ◆ **The Value:** ユーザーはモデル選びや手動でのクロスチェックから解放され、「**認識論的利便性**」を享受できる。

Executive Architecture



背景と課題：ユーザーを疲弊させる「モデル・ショッピング」と「盲点」のリスク



決断疲れ (Decision Fatigue)

「このタスクはGPTが得意か？ Claudeか？」という賭けを、ユーザーは質問のたびに強いられている。

ハルシネーションの罟

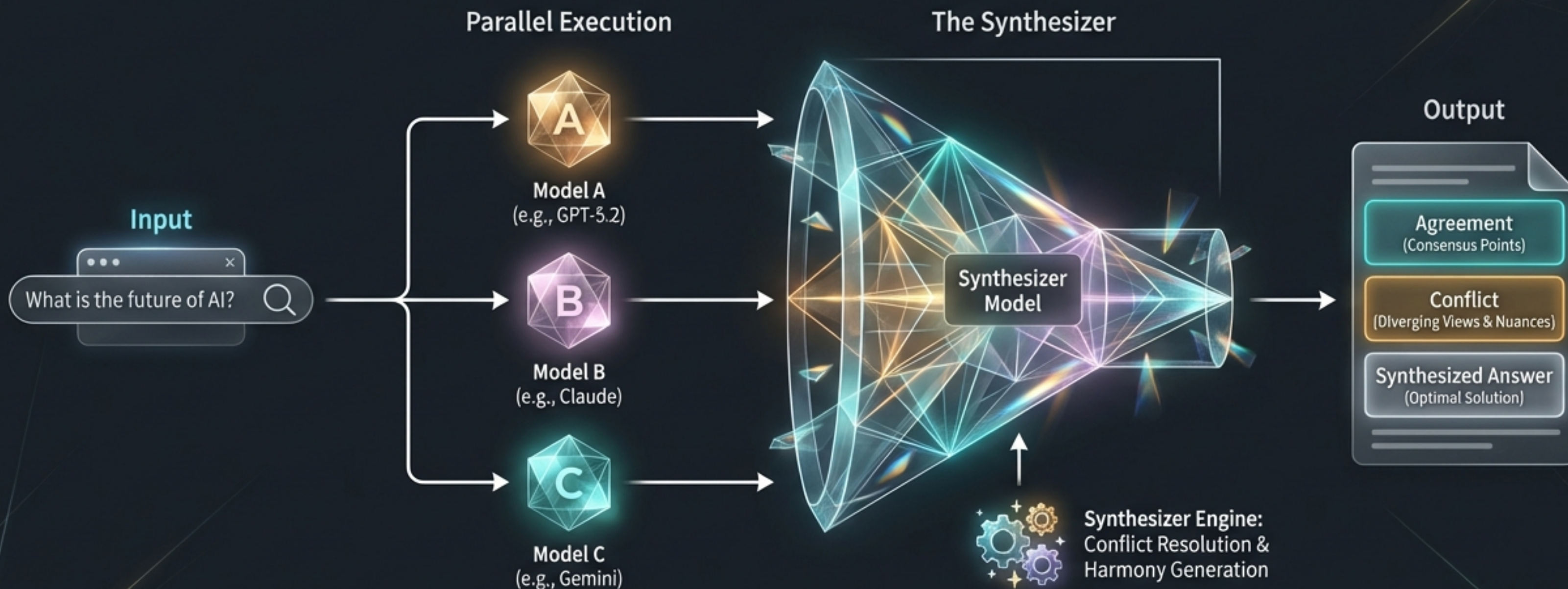
単一モデルは自信満々に嘘をつく。真偽確認のため、ユーザーは複数のタブを開いて手動で裏取りをする必要がある。

単一視点の限界

どれほど優れたモデルでも、訓練データ由来のバイアスや「知識の盲点」からは逃れられない。

必要なのは「より賢い1つのモデル」ではなく、
互いの誤りを指摘し合う「ピアレビュー（査読）システム」である。

機能概要：「構造化された討議」が導き出す、偏りのない最適解



協調的アンサンブル（Collaborative Ensemble）：単純な多数決ではなく、シンセサイザーが矛盾を解決・調停し、各モデルの強みを活かした回答を生成する。

出力の読み方：何が「確実」で、何が「議論の余地あり」なのか

合意点 (Consensus)

全モデルが一致した信頼性の高い「安全地帯」。

Where Models Agree				
Finding				Evidence
Bench depth/scoring is a critical weakness	✓	✓	✓	Knicks bench ranked 27th-28th in PPG (~30.7), limiting rotation options knicksxfactor +2
Defense has been problematic, especially post-NBA Cup	✓	✓	✓	Ranked 29th in defensive rating (119.6) since December 16 s1 +1
Jose Alvarado trade was the right move	✓	✓	✓	Addresses backup PG need, saves money, fills McBride injury void postingandtoasting +2
Second apron cap constraints severely limit trade flexibility	✓	✓	✓	Only \$148K under hard cap, no trade exceptions, must salary-match tightly dsillybnicks +3 YouTube
Mitchell Robinson health/availability remains a concern	✓	✓	✓	On load management plan, can't play back-to-backs, expiring contract eny +3
Washington's protected pick will likely NOT convey as a 1st rounder	✓	✓	✓	Top-8 protected; Wizards tanking and resting Trae Young to ensure retention fanspo +1
Draft should prioritize frontcourt draft/rim protection	✓	✓	✓	Robinson's expiring deal and injury history necessitate long-term center solution fanspo +1

Divergence Areas

根拠 (Evidence)

各行に紐づく具体的な出典リンク。

相違点 (Divergence)

意見が割れた項目は「深掘りすべき点」として可視化される。

モデルの役割分担：AIのドリームチーム

各モデルの「認知的役割」を適材適所で活かす



GPT-4 / 5.2

The Explainer
(解説役)

複雑な概念を噛み砕くジェネラリスト。



Claude

The Decider
(意思決定役)

安全性と倫理観に優れ、結論を下す。



Mistral

The Technician
(技術役)

生データや技術的詳細を正確に提示。



Gemini

The Strategist
(パターン統合役)

膨大な情報から大局的な傾向を見出す。



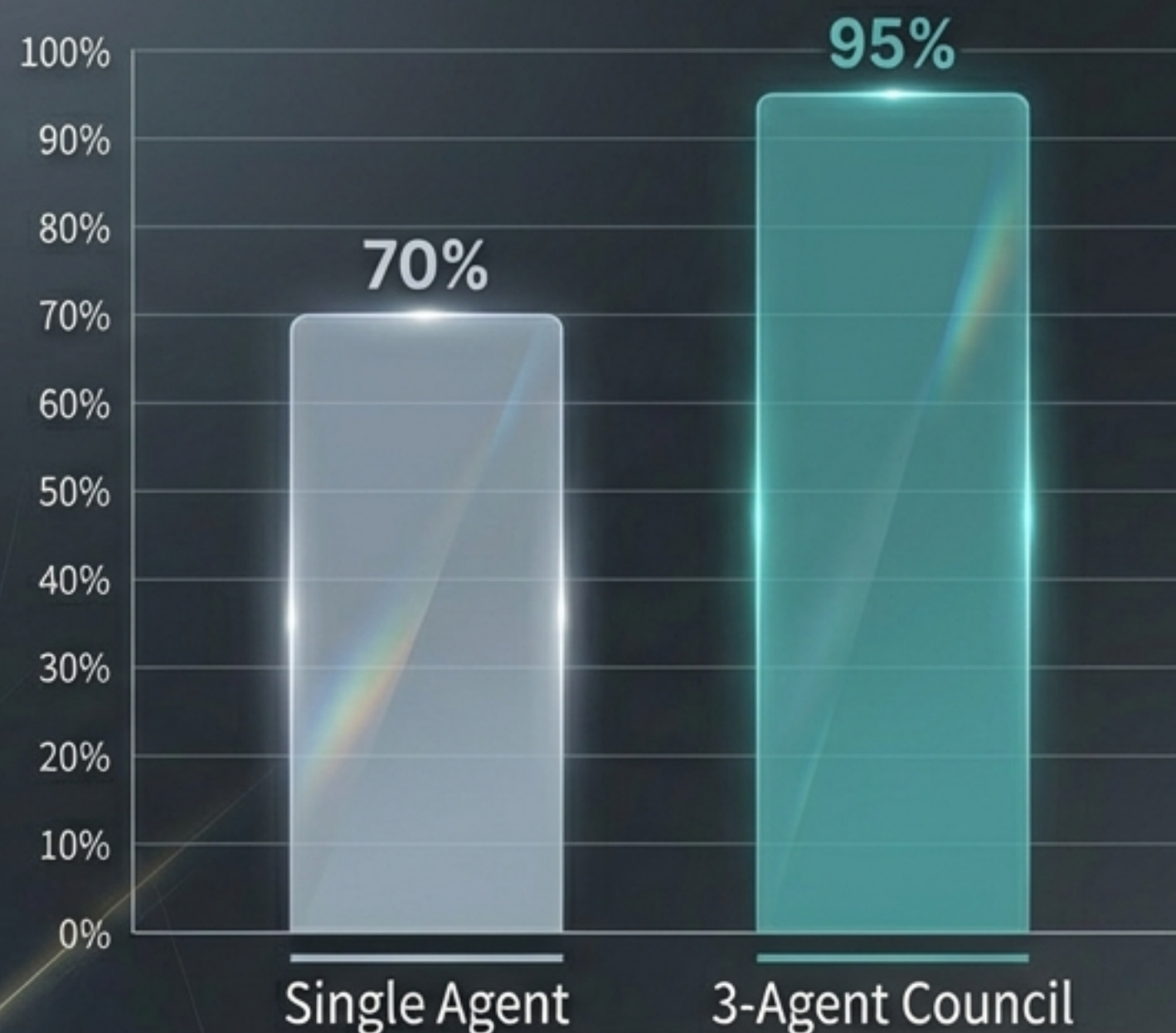
**Perplexity
Opus**

The Librarian
(検証役)

Web検索結果と照合し事実確認を行う。

定量的な効果：「3人寄れば文殊の知恵」をデータで証明する

Math Accuracy (算術タスク精度)



Hallucination Reduction (誤情報の削減)



用途に応じ、誤情報を18%～最大90%削減可能。

理論的根拠：独立した3つのモデルが、同時に全く同じ「幻覚」を見る確率は統計的に極めて低い。

活用シーン：Model Councilを召集すべき4つの「高ステークス」シナリオ

各モデルの「認知的役割」を適材適所で活かす



投資リサーチ

The Investment Research

強気・弱気のバイアスを相殺し、バランスの取れた市場分析を得る。



複雑な意思決定

The Complex Decision Making

家の購入やキャリア選択など、多角的な視点が必要な人生の岐路。



事実検証 (Fact Check)

The Fact Verification

医療、法律、学術など、ミスが許されない分野での「AIピアレビュー」。



クリエイティブ発想

The Creative Ideation

堅実な案とユニークな案、異なる発想のモデルを組み合わせるアイデアを広げる。

課題と注意点：魔法の杖ではない

コストと速度



3倍の計算資源を使用するため、応答は遅くコストも高い。現在はPerplexity Max限定機能。

共有バイアス (Shared Bias)



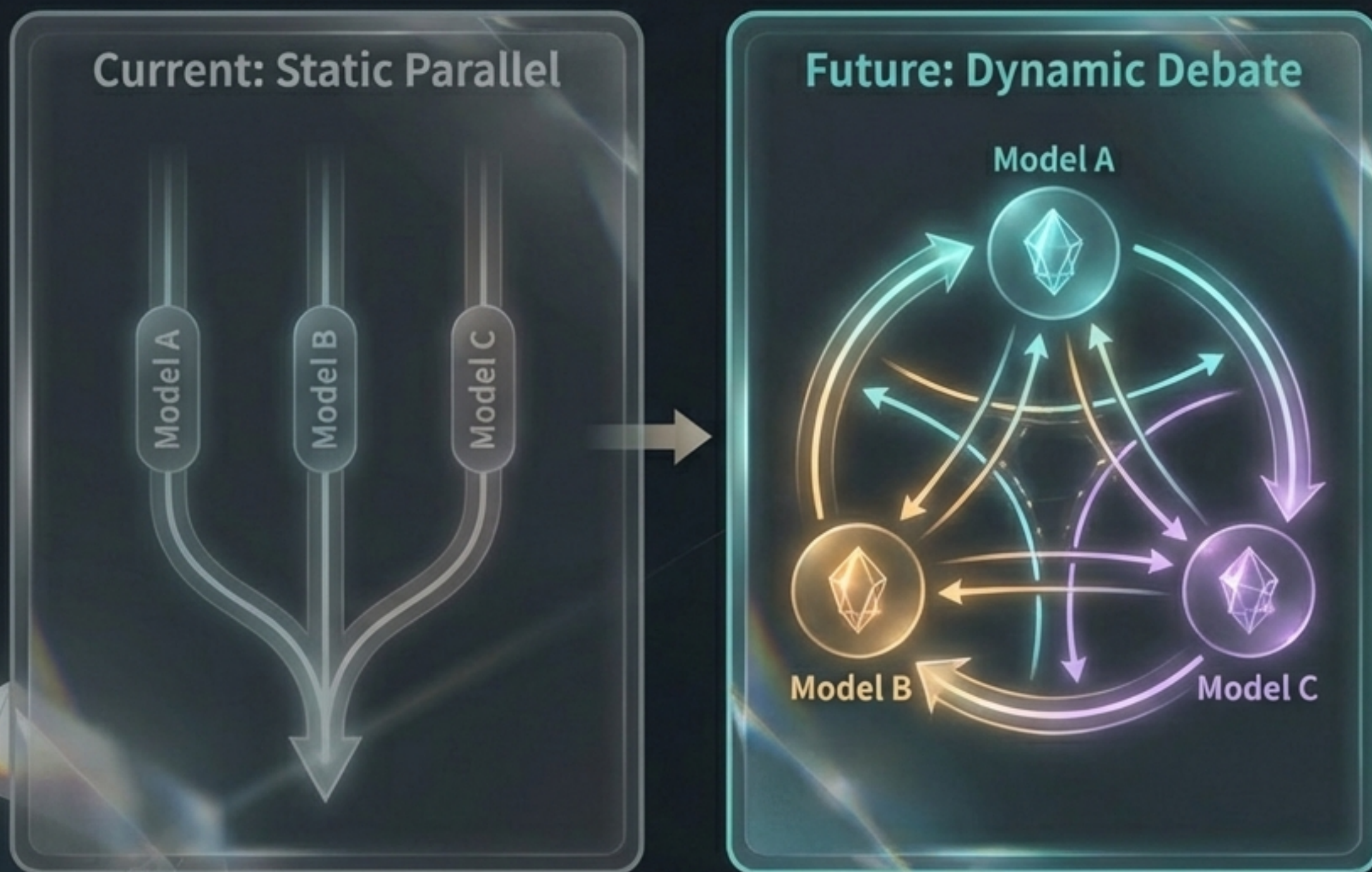
全モデルが同じインターネットデータで学習している場合、偏見も共有してしまうリスクがある。

ブラックボックス



ユーザーに見えるのは結果のみ。「なぜその結論に至ったか」というモデル間の議論プロセスは不透明。

将来の展望：静的な合意から、動的な「AIエージェント・チーム」へ



- ◆ **1. Multi-Round Debate:**
モデル同士が反論し合い、数ラウンドを経て結論を出す。
- ◆ **2. Agentic Roles:**
「リサーチャー」「批評家」「ライター」など役割分担の明確化。
- ◆ **3. Industry Standard:**
BingやGoogleも追随し、「合議検索」が標準になる可能性。

情報過多の時代における究極の価値は 「生成」ではなく「検証」にある



Model Councilは、AIの出力をAIが監査するエコシステムの第一歩である。

重要なのは「答え」ではなく「信頼できる答え」。